(3) 形競技について

①本大会は形審判員による、形の新たな得点制システムを採用いたします。

　　　・各審判員の技術点・競技点それぞれの点数5.0～10.0の間で採点。

　　②参加人数により、グループ数を決定します。１グループあたりの人数は、６～１２人。

　　③一人ずつ演武します。

　　④各グループの上位４人が次のラウンドに進出します。

　　⑤ROUND1は第１指定形、ROUND2は第２指定形、ROUND3は得意形、準決勝、メダルマッチは得意形とし、各ROUND演武する形が連続しなければ、同じ形を使っても良い。~~また、同点による再演武についても同様とする。~~

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　訂　正

　　追記

**ROUND１でROUND２への進出を巡って同点（再演武）の場合は、第１指定形での再演武により進出者を決定する。なお、その場合、ROUND１で使用した形と同様でも構わない。**

**ROUND２でROUND３への進出を巡って同点（再演武）の場合は、第２指定形での再演武により進出者を決定する。なお、その場合、ROUND２で使用した形と同様でも構わない。**

**ROUND３以降次のラウンドへの進出を巡って同点（再試合）の場合は、そのROUNDで使用した形と同様でも構わない。**

**ROUNDごとの形については、要項通り、演武する形が連続しなければ同じ形を使っても良いが、「同点による再演武についても同様とする」という文言については、参加対象年齢上、難しいと考え、上記のように訂正する。**